

第三回感染症対策オンラインセミナー ～宿泊施設における対策留意点～

【三河先生】:

こんにちは

今日は、白百合醸造さんにお邪魔しております。

まず、初めに現在の山梨県のコロナウイルス感染症の流行状況をお伝えします。

日本全国、同じですが、コロナウイルス感染症は現在も拡大しています。

山梨県も市中感染とって、どこかからもってきたのではなく

山梨県内で感染したと思われる人がチラホラ出ております。

また、その施設や家の中でいくつかの場所で感染の塊、クラスターと言いますが・・・それがチラホラ出てきております。

感染者が増えれば増えるほど、クラスターが増える。

今後、自宅のなか・企業のなか・飲み会や会食、他のところでも出ているが・・・

施設系で、ひとたび感染がおこると感染者がたくさん出てくるという状況が続いていると考えております。

この状況は、当分落ち着かない。

あまり考えたくはないですが、以前のように自粛となっても

そこから、ある程度の期間、感染の拡大は続きます。

この3連休の間、お客さんが県外からたくさんいらっしやっていたと思います。

今回の対応も同じで、県外から来ている方から職員の方うつす、うつされないようにする観点が、皆さんおありかと思いますが・・・それだけではなくて、職場のなかで感染者が出て、そこから広がるということの危険性や対応を十分に考えて、いただければと思います。

今回のワイナリーの構造上として、試飲・売店・見学この3つが焦点となると思います。

まず、簡単にそれらの場所での感染対策の基本を簡単にお話した後に

実際に白百合醸造さんのなかを見させていただいて、最後にいただいた質問にお答えします。

ワインの試飲ですが、先ほどお聞きしましたら、個人のお客様が多いと伺いました。

ワインを飲む際にマスクを外しますが、飲み会のようにワハワハ笑ったり、うろうろすることは通常、あまりなく、椅子に座っての場合が多そうですので・・・

その場合は、そのグループを一つの単位としてグループとグループの間を離します。

テーブル同士の距離を離したり、間をセパレートすると・・・そのような対応が重要になってくると思います。

元々、同じグループで来ている人たちは、車内でマスクを外していたり、一緒の場所に泊ま

っていたりするので、この人たちは、他の場面でも密接に接触していますから
試飲の時だけ、そのグループをセパレートする必要はあまりないと思います。

見学の際には、説明される職員の方とお客さんたちの間は、マスクをして最低でも1メートル以上開けて移動をすることになると思う。

途中、途中で様々なところに触れると思いますが、触れることを止めずに後で手を洗えば良い。

後ほど、詳しくお話します。

最後の売店の対応ですが、売店のなかは主に2つ・・・

陳列しているものに消毒の必要は基本的にありません。

そんなことをしていたら、ラベルなどがズブズブになりどうしようもないですし、大変ですから触った後には、手を洗えますーということでアルコール手指衛生を各所に置いておくという対応があると思います。

後は、売店でのお金の授受とか、そのようなところもあまり心配する必要はない。

もし、心配な場合は、売店でのお金の授受をする人たちは、パーテーションで仕切るですとか、アルコールで手指衛生が頻繁にできる環境を整えておくが良い。

お金を消毒しても、お財布の中のお金をお客さんが取り出して、その瞬間にウイルスが付くかといったら、お金に向かってクシャミとかしないですよね・・・

お金を消毒することにあまり、意味はありません。

寧ろ、お店のなかの職員さんが色々なところに触ったり、拭いたりして、手から自分に万が一ウイルスが入らないようにするには、手を消毒すれば良い。

最終的な入り口は手なので、鼻や目に動かせる自分の手ですから、マスクをして手をしっかりと洗えば良いと・・・そこを強調してお話出来るかと思います。

【佐藤】:

三河先生、ありがとうございます。

それでは、この後は実際のワイナリー施設内を回りながら、

それぞれの場所での感染症対策のポイントについて、ご指導をいただきます。

なお、カメラを持ち歩いて映像を配信します。

電波状況により、一時的に画像・音声乱れることがあるかもしれませんが
ご了承願います。

また、移動中につきましては、静止画に切り替えることがございます。

その際はしばらくお待ちください。

映像配信中もチャットでの質問は可能です。

ご活用ください。

準備がございますので1,2分ほどお時間を頂き、再開いたします。

【三河先生】:

白百合醸造さんの入り口に体温測定器があります。

ホテル八田さんでもお見かけしたものと同じです。

確か、県内の企業で創っているというものですよね。

先ほど、外が結構、灼熱地獄で外から車でハンドルを握っていた人の体温が、37 度以上出ておりましたが、低く見積もられるよりかは、高く見積もられていた方が良いのかもしれない。

その場合は、体調をお聞きしたりですとか、また少ししたら体温を測れば良い。

1. 2. 3 と準番が振ってあり、非常にわかりやすい構造になっています。

2 番は、アルコール手指衛生になっています。これ自動のやつですね。

中は御自身のところで作られたエタノールだと聞いています。エタノールのパーセンテージも非常に高く有効です。

ただ、一つ気になるのは、エタノールの量が・・・通常の必要量が 3~4 ミリリットルで 15 秒間手がビタビタになるくらいですので、ワンプッシュだと足りない。

3 プッシュは必要でしょう。

エタノール濃度が 70~90 パーセントで、78 であれば十分です。

先ほど申し上げたように 3~4 ミリリットルの量が必要ですので、手がビトビトになって手を擦って乾燥するまで 15 秒くらいかかる。というのは、アルコールがウイルスを殺すまでに接触時間が大体、十数秒かかります。後で、手の洗い方のお話をします。

こちらにお名前を書いているようですが、お名前を書いていただく理由は、もし、この中でコロナの感染者が出た場合にその時間にいる人たちに教えてあげることができるかと聞いています。

これ、手書きで書いてありますけど、

ボールペンの消毒のタイミングは、最初と最後くらいで本当は良いでしょう。

あるいは、ご利用の方が気にされる方がいるようでしたら、どうぞご自由にお拭きくださいと置いておけば良いし、なんだったら・・・WEBの G o o g l e ホームとかで QR コードをここに置いておいて、皆さん携帯電話をピッとやっってもらうのをに入れてもらうのも良いでしょう。

実際にコロナの感染者が万が一居て、どの範囲で連絡したいのか・・・という質問があったが、それはまた後でお伝えします。

次に、社長さんにご案内いただきます。

受付には、アクリル板が貼ってあります。

従業員の方の安全安心を守っている。

【従業員】

現在、安全のために試飲はグラスでなく、プラスチックのコップでご提供しております。

【三河先生】

実際には、グラスでも構わないです。どうせウイルスは中性洗剤で死ぬ。

お客さんのほうが気にするかもしれないが・・・

安全は、グラスでもプラスチックでも大して変わらないですが、お客さんの安心のためにプラスチックというのは、十分理解ができます。

★試飲提供流れ

①提供する際には、トレーを置いて

②試飲カップをのせる

お客さんは、この間はそれぞれマスクをしながら、ここには、フィルムのパーテーションがある。

先ほど、少しお話していたのですが、フィルムの横から顔を出して話されるお客様がい↓らっしゃった場合は、ウイルスの感染をそんなに心配する必要はない。

パーテーションがあって、お互いマスクをしていれば安全だと考えて良いと思います。

③注ぐ

④トレーを持って席へ

会場の全体を見渡していただくと、テーブルが5つ置いてあります。

それぞれ、4人掛けになっております。

今回は、テーブルの上にアクリル板が置いてありますけれども、それはこちらで持ち込んだものです。本来は置いていないようです。

今は、個人のお客様やグループでもお客さんが多いと聞いております。

であるならば、グループのお客さんたちは、すでに車とかで一緒に来ています。

つまり、この人たちは同じリスクを持っていて、このグループで感染対策をおこなう必要は・・・微妙です。

ぜなら、ご食事や車移動が一緒だから・・・

このグループとその隣のグループ同士で不備があれば・・・

グループ同士の間隔は2メートル以上あればベスト！皆さんマスクを外しますので。

後は、間にパーテーションがあれば尚、良い。

今、白百合醸造さんのこちらのスペースを見る限り、テーブルの位置や感覚はこれがベ

ストです。

もう少し距離を離れた方が良いとは思いますが、空間的に扱うのであればこのくらいで良いと私も思います。

間にパーテーションを置くと尚、安心な気もしますが・・・このスペースを有効活用してお店を運用するには、間にパーテーションを置くと邪魔だと思いますので、このくらいの距離があれば、私は十分ではないかと思えます。

テーブルの上にアクリル板を置く場合は、例えば、相手方が知らない人・違うグループの人がいる場合はあった方が安心でしょうけど、テーブル一つがグループ単位なのであれば、敢えてアクリル板を置く必要はないです。

ワインを飲むときは試飲で飲み会ではないので、飲みながらギャーッと騒ぐような環境ではありませんから、マスクを外す時間が短時間であれば良いでしょう。

例えば、お客さんにワインの試飲をしてもらっているときに極力、マスクを付けられるタイミングは付けてくださいねということだけお伝えすれば良いのではないのでしょうか。

【従業員】

試飲のテーブルを拭くタイミングを教えてください。

【三河先生】

お客様ごと、一グループが去ったら拭くということでも良いと思います。

今日は、平日ですが・・・先ほどお聞きしたら、この3連休はお客さんの数が多いとき、とても手が回らないと思います。

お客さんごとに拭いたら何のリスクが下がるかという、お客さんが別のグループが入った時のリスクです。

従業員さんのリスクは変わらない。やるなら二つです。

- ・時間を決めて拭く
- ・どうぞこちらをお使いくださいというように拭けるようにテーブルの上かテーブル間の真ん中に準備をしておく

(私は、お客さんが心配であれば拭けばいいと思っている)

欲を言えば、アルコール手指消毒をする場所が一か所くらいあっても良いと思います。

一つは試飲ワインを受け取るにありますね。

お客さんは、同線上ここを通過して試飲に行って、ごみを捨てにここに戻ってくるのでお客さんの同線を考えた先に、アルコール手指消毒があって、それがいつでも使える状況であることは必要です。

⑤ 試飲カップ返却

トレーごと持って、プラカップをごみ箱に捨てる
使用済みのプラスチックカップをごみ箱に捨てることはどうなのか
心配はないのかという質問がありましたが、どこでも同じことを申し上げております
が、試飲カップにもし、ウイルスが付着していても、ごみ箱は咳をしないので
ポイッとしても問題がありません。あまり、力を入れる必要はない。
ごみ箱の中のビニールの口を閉めて手が気になるのであれば、手を洗えば良いこと。
このトレーは、後で拭いたりしていますか？

【従業員】

消毒液をまず、拭きかけて布巾で拭いていますが・・・このやり方で正しいでしょうか？

【三河先生】

まず、こちらのトレーにどれだけウイルスが付いている可能性があるか・・・
お客さんの10人に1人が感染していたら気になりますけれど、その場合は、おそらく
日本全国が委縮状態で大変なことになっている。
つまり、比率としてこのトレーにウイルスが付いていて、お客さんがウイルスを保持し
ている可能性は低いです。
完璧な消毒をするのであれば、熱水で消毒をする必要があるわけですが、そこまでやる
必要はないでしょう。
アルコールで拭いてもウイルスは死なないと思いますけれど・・・その消毒のやり方で良
いと思います。

【従業員】

ペーパーで拭いたほうが良いか？

【三河先生】

その必要はない。ウイルスを消毒するということを考えるのであれば、乾いたもので拭い
て、捨てて、手を洗う。
消毒にそんなにこだわる場面ではない。きれいにすれば良い。

見学コース

【社長】

葡萄を指しながら：これが赤ワインの原料です。
今は、ちょうど緑から赤に変わる時期です。と、季節を感じてもらっている。

【三河先生】

いつもこのくらいの距離(1メートルくらい)で見学の説明をおこなっていますか？

【社長】

はい。

【三河先生】

確かに、先ほどの質問のなかで見学の説明の際のお客様との距離感は、距離を多く取ると声を大きくしないと通じないのだけれど・・・お互いにマスクはしているが、距離はどうしたら良いか・・・

【授業員】

マスクをしているので、聞こえないときにより近くなってしまうこともあります。

【三河先生】

声が聞こえにくいのであれば、発声器やマイクを使うと良いような気がしますけれど。団体さん今はこないが・・・せつかく説明するならば、声が大きく聞こえるほうが良い。1メートル以内に近づくと感染するのかと聞かれるが、そんなこともないような気がする。距離を開けられるのであれば開けたほうが良い。あまり考えすぎても・・・

【葡萄畑にて】

【従業員】

甲州とヨーロッパの葡萄のなり方の違いをお客様に説明している。皆様に葡萄の畑に入らせていただく際は(葡萄棚が低いため)どうしても頭が触れてしまったり、葡萄に触れたりすることがあるのですが・・・大丈夫ですか？

【三河先生】

心配しなくて良いと思います。
頭にウイルスが付着していることは考えにくい。
触るのは、仕方がないことですよね。
前回の葡萄農園さんでは、葡萄が痛むので、できるだけ触らないでと言っていましたけれども・・・
葡萄にウイルスが付いて他の人にうつるとするのは、心配しなくて良い。
寧ろ、誰かが何かに触った後にその人が消毒できる環境を作ってあげると・・・
安全は心配ないから、安心のために手を洗う・手指衛生できる場所を数か所作っておきましょう！ということはあると思います。
例えばご案内される方が持ち歩いて、葡萄を触ってお気になさる方がいらっしゃいました

ら「こちらにアルコールがあります！消毒しますかー」と一言、声をかけてあげたら良いと思います。

ほとんどの方は気にしないと思います。

大勢でも、多少の距離をとっておけば、皆さんマスクしていると思いますし、ここでコロナウイルス感染症がうつるリスクは極めて低いと思います。

【従業員】

今は、取って食べる方はいませんが、秋になりますと・・・取って食べてしまってという状態になります・・・

その、取られてしまった葡萄をハサミで剪定して、きれいにした方が良いか？

【三河先生】

大丈夫ですよー。

皮と種はどうしていますか？

【従業員】

足元に捨てています。

【三河先生】

それで良いと思います。

おいしく食べてもらいましょう。

(動画・音声切断)

【三河先生】

タンクのところに来ました。

今は、見学を中止している。

何故、タンクの見学を中止にしていますか？

【従業員】

製造過程のものに触れると、品質が気になります。

【三河先生】

製造過程のものに触れるときになっちゃう。

【従業員】

コロナが収まったら、見学の再開をしたいと考えています。

気になることは、タンクにジャケットを巻いておりまして、上と下の温度差を触れていただいて確かめてもらっているが、触っていただいた後はどのようにすればよいですか？

【三河先生】

タンクに触って、このタンクの表面にウイルスが付着したとして、精々ウイルスが生きてる期間は2日間。

ですが、そんなに長く生きていないかもしれません。

結局、人が触るものは、タンク以外にもたくさんある。

タンク自体は、中に入っているワインに直接関係しているわけではないです。

なので、タンクの表面を拭くこと自体は、あまり意味がない。

他のものと一緒に、タンクを触ったら手指消毒をすれば良い。

表面についたものは、気にしなくてよい。

手だけ手指消毒すれば良い。それで十分。

しいて言うと、このスペースは閉鎖空間で通気が悪いので・・・お客さんたちにしっかりマスクをしていただいて、距離をとっていただく。拡声器を使用したりすれば・・・

～移動～

【三河先生】

ここを歩きながら、葡萄を食べますか？

【従業員】

つまんでいただく感じです。

【三河先生】

先ほども申し上げた通り、枝に触ったり、葡萄を食べたから、ペツとしたから何か起きるかといったら、そんなに心配しなくて良いので、こちらは下がコンクリートなので、種がポロポロしないように袋を持ってもらって下に捨てないようにするなり、土にポイっとするなり・・・。

後は、最後に手指衛生してもらえば良いのではないのでしょうか。

手指衛生をお客さんにやってもらうのは、安全のためではありません。

もしかしたら、手指衛生をしてもらうことで、お客さんに安心をもってもらえるかもしれません。その位ですかね。

売店

【従業員】

ワインを棚の下からとってレジに持って行って頂くのですが・・

【三河先生】

要は、ここからワインを取ってやっぱりやーめた！って戻すことがどうだろう・・ということですね。

この場合の対策は、いくつかあります。

例えば、お客さんがですね、コロナウイルスを持っている可能性は極めて低いわけです。

触る前にアルコール手指衛生をしてもらえば、それはそれで問題がないです。

それも大変だと・・お客さんにアルコール手指衛生をしてからワインを触ってくださいよ！

というのもなんかちょっと・・えっ！と気になる。

ワインを持って戻して、そのあとにウイルスが万が一、付着していたとしたら・・

その菌が自分の鼻や目から入るので、手を手指衛生してもらえば良い。

売店のメインの導線に手指衛生(どんなものでも良い)の消毒を置いておく。

要は、お客さんの導線を見切って、いかにもやっつけてくださいます的に置いておけば良いと思うんです。

(動線に置くことで)何となくするかもしれませんし・・

後は、お客さんの自由でお客さんの安心に繋がる。

一方で商品を消毒するというのは、やはり無理がある。

【従業員】

金銭の授受のリスクが気になります。

～レジにて～

カウンターで買い物をする想定で

【三河先生】

レジで商品をピツとして→お金をトレーごと頂いて→お釣りをトレーでお返りする。

これは、要するにお金自体にウイルスが付いていないか、心配があるということですね。

お金は、お財布のなかに入っているもので、お金自体にウイルスが付着するタイミングが余りないです。ウイルスって鼻と口にいるもので、鼻と口から手を伝わる。

お客さんは、マスクをしているので、どこでウイルスが付くのか・・結構、無理があります。

なので、実際にトレーがどうこうとか、お金がどうこうとかは、あまり気にしなくて良い。

要は、お金が汚いとかを考えるより、きれいにするのは紙ではなく、自分の手。

従業員の方の感染リスクは関係ない。

レジの作業をおこなった後、毎お客さんごとに手指消毒をすれば良い。

手渡しでお客さんが気にしそうであればトレーが良い。

これは、お客さんの安心のためであって、従業員の安全のためには、お金やカウンターなどのさまざまなところを触ったら、触った後に手指衛生すれば良いです。

なので、手指衛生がある場所は・・・レジ前はお客さんのため、従業員用はカウンターの中に置いておく。(白百合醸造さんは、カウンター内に従業員用が置いてある)

従業員の導線の中にアルコール手指衛生が置いてあって、みんながたくさん触る場所もアルコールで拭けば良いです。

【従業員】

お会計がカードの場合に以前は、カードを受け取り差し込んで暗証番号を入力してもらうという流れで処理をしていたが、現在は、お客様になるべくカードをご自分で差し込んでいただき処理をしています。

【三河先生】

先ほども申し上げたように、別にどちらでも良い。

そこからのウイルスの感染は、ほぼありません。

気になるのであれば、アルコールで手指消毒すれば良い。

お客さんがカードリーダーにみんなが触れるから心配ということであれば、従業員がやってあげても良いが、ここ自体に感染のリスクは、ほぼない。

みんなマスクしているから。

コロナウイルスの感染源の1番は、飛び散るしぶきで、ノロウイルスとは全然違うので・・・厳密には、レジでの安全対策が必要ではなくて、お客さん目線でお客さんがどのようにしたら安心かなーと考えてあげることです。

～レジから移動～

お客さんから何かをもらうという点は、あまりないのかなーと思います。

県内で市中感染が広まれば、職場内での感染リスクが高くなる。

～入口の消毒液の前で～

【白百合社長】

消毒液は 0.5CC で設定をしてあるが、何プッシュもやって手をベタベタにした方が良くないですかね・・・

中身は、当社のアルコール 78 パーセントのブランデーです。

【三河先生】

これ、ワンプッシュでは、足りないので設定し直すか、プッシュの回数を増やしてあげても良いと思います。

先ほどカウンターにあったスプレータイプのは、1プッシュで十分でしたので、あの位が良いかと・・・

～事務所へ～

【白百合社長】

毎朝、従業員が検温し、37度以上でないか注意しております。

そして、センサータイプの手指消毒をしております。

【三河先生】

まず、体温のチェックは、早い段階からされていると・・・

素晴らしい取り組みですね。

体温のチェックは、どこもやるべきなのですが・・・注意したい点としては、半分くらいの患者さんは、熱が出ませんので熱だけでは引っ掛けられない。

鼻・のど・咳、風邪症状の方は、どうやって引っ掛けるか・・・休ませることをして下さい。

次に職場の環境ですが、どの職場であっても通常、密で狭い環境でやるのが普通で、そんなオープンスペースで広々として換気ができているところは、そうはないと思います。

今4名座っていて、出入りもあるがこのような感じで座っていることがあると先ほどお聞きしました。

そうすると、この職場内ではこの4人がこのスペースで座っていて、みんなマスクをしていますけど、マスクを外すことがどのぐらいあるか、あんまりないかもしれないですけど・・・もしも、この状況で1人の感染者が出たら、このスペースでいたら濃厚接触者と判断される可能性があります。(接触時間が長いから) 悩ましいですね・・・かといってこの今の状況で、これ以上の換気をするのもかなり困難。

しいてできるのであれば、隣合わせの席の2人の間に透明のパーテーションをくらいですかね。

でも、それも必須ではない。

マスクをして、静かにお仕事のできているのであれば別に良いと思います。

ただ、どんな場合でも職場内でコロナウイルス感染症が出る可能性があり、その場合は職場の中の人が濃厚して判断される可能性がある。

この場合1番の問題なのは、ワイナリーの事業経営が事務室の方がお休みになったときに営業できるかということです。

BCP(事業継続計画)を立てたときに、どの職員が休んだら事業ができて・できなくなるのか

を計画する必要がある。

一番は、具合の悪い職員さんを休ませることが良い。こちらに関しては以上です。

先ほど、食事のスペースも見せていただきましたが、一か所の食事は精々、2～3人位。時間の分離がしてあって、割と距離も空いていて、空間の分離もできている場所は1か所ありました。

2階のところの前の休憩室というところは、割と密で閉鎖環境でした。

どこの病院やクリニックも同じですが、休憩室というところは、大体マスクを外して、お菓子を食べる場所なので、あそこに1人感染者がいると、みんなも一網打尽になる。

休憩室的なものはなかなかリスクが高い。

換気をしなきゃいけないし、できればなくす方が良い。

職員の福利厚生として必要ならば、もっとできるだけ・・・例えば、ここだと距離を空けてご飯を食べる場所、スペースを差し上げれば良い。

すみません。お邪魔しましたありがとうございます

～移動～

【白百合社長】

やはり、冷房している部屋の換気という問題がね・・・

例えば、空間に消毒液をスプレーするというのは効果がありますか？

【三河先生】

空間に薬剤をスプレーするのは、効果が証明されていません。

次亜塩素酸ナトリウムは特に危険があるが、アルコールはない。

空間のウイルスを殺して安全だという証拠がありません。

～移動～

戻って質問に回答

【三河先生】

～白百合醸造の質問～

質問： 入り口のアルコールの量はどのくらいが良いのでしょうか？

回答： 1度のアルコール手指衛生で使用する量は、3～4 cc です。

結構量が多くて、手がびしょびしょになるようだと思ってもらえれば結構です。

質問： アルコール消毒の効率のよい順番はありますか？

回答： 手を洗う順番と同じですけど、1番目が手のひら→爪→手の甲→親指(ひねり洗い)
→手首 5か所を各5秒ずつで25秒ぐらいになります。
そのぐらいの間、アルコールのビトビトを保ってないといけないので、量が必要です。
今言った、爪・指の間・親指・手首はだいたい洗い残しがあるところです。
これは、石鹸で洗う時も同じなので、そういうふうにされるといいと思います。

質問： マスクのことについて、今マスクは、ウレタン・不織布・布とありますが、おそらくウイルスを下げる効果が1番高いのは、不織布です。おそらく。

布とウレタンはダメかって言うと・・・医者医療の分野では使えません。

必ず不織布を使います。

商売とかの場所は布でいいのかと言われれば・・・暑いからしょうがないじゃん！って言えば、何もマスクがないよりも、もちろん布のマスクでもしていたほうがいいでしょう。

なので、あのまあ医学的な点から言えば不織布をおすすめします。

暑いですけどね・・・

お客さんとの距離は相手がマスクをしていても、1メートル以上空けることをおすすめします。

説明をするときには正面を避けて横と前とか、ちょっと斜め同士で話をするとか、そういう方が良いかもしれません。

お金のこととか、ウイルスのことは聞かれた・・・

ウイルスのある研究では、そのプラスチックや金属とかの表面では48～72時間くらい生き残るとされていますから、人がいっぱい触るところはやっぱり拭いたほうが良いわけです。

エタノールや次亜塩素酸で拭くことをお勧めします。

質問： テーブルの配置で効果的な配置はありますか？

回答： テーブルの配置は、先ほどお答えしましたね。

だいたい2メートル空いていれば尚良い。

まあ、みなさんがマスクをしているのだったり、対面じゃなければ1メートル以上空けていればいいような気がします。

出来るだけ距離を空けるほうが安全です。

～他の酒造メーカーさんの質問～

質問： お客様への試飲提供（弊社においては使い捨てプラカップ）にあたっての感染リスクは？プラカップに注いだワインをお客様に取っていただく提供方法で問題ないか？

回答： あの一、そこ自体に感染リスクはあまりないと思います。
この提供方法で問題は無いです。大丈夫です。

質問： 試飲時は、マスクを着用していない状況であるが感染リスクはどの程度なのか？

回答： 程度問題は、なかなか難しいのですが・・・これって参加者、皆さんの距離と咳とかしぶき、くしゃみ、しぶきを飛ばす症状があれば感染率が上がります。
あと、同じ空間に長い時間滞在すればリスクが上がる。
あとは閉鎖空間ですね。すごく狭い閉鎖空間だったらリスクは上がるでしょう。
一般論として、ワインの試飲を座って行う場合に皆さんマスク外してギャーギャー騒いだりしないし、マスクを1時間外して滞在することもないでしょうから・・・
飲んでいながらマスクをしましょう！とかそういうことをお伝えしてリスクを下げるという工夫を試みられたら良いと思います。

質問： 試飲済みカップ等のゴミに関しては速やかな処理が必要であるか？
また、そのゴミを扱う際の感染リスクは？

回答： いやそんなことはないです。普通のごみで結構。
感染リスクは、特に無いと思います。
ご心配であれば、そのゴミ袋を扱った手を石鹸で洗えばいいと思います。

質問： 密になりやすい工場見学（試飲時も含む）に際し、マスク着用であれば対人距離はどの程度保てばよいか？（大声での会話禁止等の喚起要）

回答： マスクをみんながしているのだったら1メートル以上がおすすめです。
最低1メートルですね。

質問： ショップの空間は、およそ200平米天井の高さ5メートル程度現状サッシ窓の開放（20メートル壁面一面）+エアコンの常時稼働をおこなってはいるが、空気の入替えはどの程度の頻度が必要か？

回答： 換気効率はその空間によっても違うし、換気に使うものによっても変わってきます。結局は、一様にどのぐらいがベストか・・・ってのは、施設、施設によって違うと思います。

一般論として答えるのは、常時換気がベスト。

じゃあ、どのぐらいの間なら、その窓閉じていいのかってのも個別の問題ですが開けられるだけ、出来るだけ換気の方がいいと思います。当然、空調効率とのトレードオフになります。

質問： コロナ感染に対しての見解(本当に飛沫感染だけなのか？空気感染、市中感染の可能性は否定できないのか？等)・ご意見をお聞かせ願えますでしょうか。

回答： まず、市中感染というのは、ある市中(甲府市の市に中)例えば、山梨県という中で山梨県の中で感染が広がるものを市中感染という言い方をします。

今、山梨県の状況は、冒頭でも話したように感染経路不明の人が出てきていて、おそらく山梨県で感染した。なぜなら、県外に出ていない方が散発していますから現在、市中感染の状況にあります。

感染の経路は接触と飛沫があります。空気感染はあまりないとされていますけど、イメージ的には飛沫、しぶきは精々、1、2メートルですけど、さっき社長さんがアルコールでシュッシュとして、霧吹きの霧が飛んでいましたよね、あれがふわふわふわふわ浮いて、4、5メートル飛ぶっていう感覚でいいと思います。

厚生労働省は、マイクロ飛沫って呼んでますけれども・・・飛沫、しぶきなんだけどより細かいものが、より遠くに飛ぶ、4、5メートルぐらい飛ぶよというぐらいの感覚でいいと思います。メインは、その飛沫感染。

接触感染以上に飛沫の感染、しぶきの感染が、感染者を増やしている要因にあると思います。

接触感染は、当然あるんですけど、どのぐらい感染の拡大に関連しているかわかりません。

質問： 現状病院内にて行っている対応の中で、ワイナリーでも採用・参考にできる予防対処法があればご教授願いたいです。

回答： ご存じの通り、病院の中の対応は、病院の中が閉鎖環境で弱ってる人が多いためにものすごい気を使っています。

したがって病院のなかでの感染対策は、一般の場所でいけば過剰ですので、あまり参考にできることはありません。

例えばですけど、面会制限していますけど・・・

じゃあ、お店に来る人の制限をしたいと・・・来るな！とか言うわけにもいかないですし、病院の感染対策上で皆さんのところに参考にできることがあるとすれば、職員の健康管理ですかね。熱だけじゃないです。鼻・のど・咳症状があった場合には休ませることを十分、考えています。

ほとんどコロナの初期は風邪症状と区別がつきませんので、そういう対応はワイナリーでも当然可能だと思います。

質問： 安全な工場見学、試飲提供の方法を教えてください。

回答： 先ほど述べました。

質問： レストラン内の消毒場所についての詳細。

回答： これは高頻度接触面って言って、人がいっぱい触る場所ですから、手すり・テーブル、それと例えば水平面がいっぱい触るで、レジカウンターとかみんながいっぱい触りそうな場所を同定して拭きます。

あとは、トイレのノブ・扉のノブ・トイレ便座・トイレットペーパーをくるくるするところと、その上のところ、この辺はいっぱい触りますので、その辺が消毒場所だと思います。

一方で壁とか天井とか床とかそういったものは必要ありませんし、過剰にそこら中を消毒しまくる必要もないと思います。

質問： 当社は社内基準で屋外受付及び屋内レジカウンターで、透明パーテーションではなくフェイスシールドを着用し、ゴム手袋とマスクも着用しております。

夏は熱中症対策も兼ねる必要がありますのでフェイスシールドの代わりに花粉症対策の目を覆うメガネでもよいのでしょうか？

回答： ゴム手袋ですけど、手袋は基本汚いものです。

なので、手袋を常に着用することはお勧めしません。

病院で看護師や、医者が手袋をしている場面は、おしっこ・うんちとか血液とかそういう体液に触る時の対応です。

だから皆さんが体液に触るわけじゃありませんから、手袋は必要ない。

手袋自体は、最初から表面が汚染されています。

手袋をつけることで、自分の手は守っているように見えて実は、手袋を外すと・・・

手首などは、汚染されています。

手袋をつけても自分の手は守られません。

手袋自体の表面が汚染されているから、汚染されているものでみんなにポイポイ渡していることとなりますから、手袋をつけて対応することは、お客さんにとっては安心にも安全にもなりません。

それをするのであったら手を洗って、手指消毒か洗うか・・・手指消毒をして対応されることが、お客さんの安心安全につながると思ってください。

夏は熱中症対策も兼ねる必要がありますので、フェイスシールドの代わりに花粉症対策の面をメガネでも良いのでしょうか？

悩ましいところですが・・・いいんじゃないでしょうかね。

そのフェイスシールドじゃダメで、メガネじゃダメだとか、メガネ良いっていうそのエビデンス証拠はありません。

いつも登場のフェイスシールド君です！

ゴーグルでも構わないと思いますあの感染対策用のゴーグルである必要はないと思います。

ただし、ゴーグルもフェイスシールドもそうですが、表面とこの側面これ汚染されます。

使い終わったらしっかりと拭くか、付け替えが可能だと思うので付け替えるか、消毒をしてください。

ゴーグルも表面をちゃんと拭いてあげてください。

そこが1番汚いです。

質問： 入店者及び、対応社員全員マスク着用が入店条件で、レジカウンターの位置が構造上高い位置にあり、買い物カゴを載せると女性のほぼ顔の位置になります。故にフェイスシールドスタッフは着用しておりますが、その場合はレジの透明パーテーションはなくてもオッケーでしょうか？

回答： フェイスシールドをつけるか、パーテーションをつけるか、どちらかでもいいと思います。

どちらも顔を守るもので、装備は少ない方がいいので、それどちらかでもいいんじゃないでしょうかね。

この場合はフェイスシールドをつけてパーテーションなし、あるいは、フェイスシールド無しで、パーテーションありどちらでもいいと思います。

これらの対応は必須ってわけじゃありません。

フェイスシールドは、絶対つけなきゃいけないかという医療の現場では、狭い環境で咳をしている人とか怪しい人の時にフィールドをつけますから、これをつけたら

じゃあ、すごい感染対策が良くなるかっていうと、もし、万が一、目の前にコロナの人がいて咳をしていたら役に立つでしょう。

だけど、そうでない場面の方が多いので、場合によって、場面によって、これ過剰な対応になってしまいます。

私のイメージとしては、相手もマスクして、こっちもマスクしている条件で15分とか30分の商談をするとか、そうした場合は、距離を置くなり、なんか付けるなりしてもいいかなと思います。

質問： テレビの専門家によるコメント必要性やその効果の見解がまちまちで迷います。色々、やった方が良いのは分かりますが、ショップ営業を行う上で、必須の内容のアドバイスをお願いいたします。

回答： テレビの専門家という人たちが、実際に専門家が出ていることが少ないので、僕らからすると、この人誰？という人が多いので・・・そうですね、ショップ営業ということですから、しかも必須の内容ですね。

お互いにマスク、長時間、相手と面と向かって対応しないこと、それといっぱいもの触ったりしたら手指消毒を行うこと、以上です。して言うならショップの店員さんの体調・・・あの風邪症状がないことですかね。

職員の体調、熱、風邪症状がないこと、職員とお客さんがマスクをしていること、長時間、相対ないこと、これが必須です。

これ以上のものはオプションだと思います。

具体的なオプションと言うのは、えっと従業員の安心のためか、お客さんの安心のためである。安全の上乗せ・・・つまり、感染リスクをどんどん減らすという対応はあまりプラスのものがないような気がします。

質問： パーテーションを代用してフェイスシールドで対応しているが、注意点は？
パーテーションをすればフェイスシールドは必要ないか？
どちらの方が効果があるか？

回答： さっき言った通りです。

フェイスシールドの側面や表面を拭き忘れないこと。

そこは、汚染されています。

パーテーションとフェイスシールドどちらの方が効果があるか？

そういう証拠がないので、運用しやすい方が良いと思います。

質問： 試飲再開における留意点。

例)使い捨てグラスの推奨、吐きは設置しないなど

回答： 使い捨てグラスの必要はないです。言った通り、別にないです。

グラスは中性洗剤で洗えば別にいいと思いますお客さんの安心のために使い捨てにしているという、私は認識でいます。

ペッってやつはそうですね・・・気分的になんとか設置したくはないかなと思います。けど コロナの感染者の大企業ウイルスがある程度いますから、それはあまりお勧めしないですね。

質問： お客さん来店時、日時、お名前、住所、電話番号を記入いただいております。

仮に来店者からコロナ感染者が出た場合、入店時間からどの範囲のお客様にどの様な案内が必要でしょうか？

回答： これってあれですか・・・なんかでそのお店に来た人の住所とか電話番号を控えるよう、何かお知らせが来ているんですか？

「【社長】いいえ。」

自主的な対応ですか。

であれば、一つの方法は、お店に入る前にココアでしたっけ・・・接触感染アプリを入れたらどうですか？ってそれで終わりの気がします。

もし、その実際に細かくサービスとしてですね、コロナ感染者が出た場合にどの範囲のお客さんにどの様な案内が必要かと言ったら、そのコロナ感染者が入店したタイミングから、帰ったタイミングの予想推定と、ここ重なったお客さんだけで結構です。

大きく網羅的にお伝えする必要は、本来はありません。

この人たちに皆さんがその来店した時間にコロナの陽性者がいたようです。とつきましては、ご心配だったり、症状がある場合には管轄の保健所にご連絡ください。

これで結構です。

時間は、陽性と考えられるお客さんが居た時間だけは、その時間に来店者とその重なっていると思われる人だけ、それだけで結構です。

質問： 試飲をするワイナリーは、山梨県のグリーンゾーン認証制度進んで登録した方が良いでしょうか。また現在申請されているワイナリーはありますか？

回答： グリーンゾーン認証は飲食店許可をとっているワイナリーだけ？

レストランを併設しているところは、それができるってことですね。
それ以外のところは、認証対象外となっているということですね。はい。
例えば、白百合醸造さんみたいに、私たちはこういう対策をとっています。と入り口で目にわかるようになっていました。
ああいう形で、各店舗で私たちのコロナ対策は、こうです！
ということをホームページやそのお店の入り口に表示することで安心に繋がるんじゃないでしょうか。

質問： お客様に試飲の要望を受けても、現在はお断りしている状況です。どのような対策を行ってれば、試飲の提供ができるでしょうか？

回答： 先ほども申し上げた通り、リスクがもし、試飲であるとすれば飲んで騒ぐとか、あとは、狭い空間であるとかそういった場合でしょう。
空間によっても違いますけど、試飲を中止しなきゃいけないという必要は、あんまりないような気がします。
あのぜひ、白百合醸造さんで対応させていただきましたので、社長さんにお聞きするとか、観光推進機構さんにお聞き頂くことで1つ1つの店舗の判断が必要であればご相談に応じます。

質問： PCR 検査を発熱時に受けられますか？

回答： 山梨県かなり検査数のキャパが増えているんですけど、ここ最近、発熱者がすごく多くて、おそらくキャパシティーのある県立中央病院も週の初めは、かなりヒーヒーギリギリです。
今、PCR も含めて抗原とかいくつか検査方法がありますが、受けられないということは、あんまりないですが・・・場合によっては、1日後になったり結果が2日後、3日後になったりすることは、今後ありえます。

質問： 現金にもウイルスは付いているのか？もしその場合はキャッシュレス決済を促すべきなのか？

回答： 現金にウイルスが付くリスクはそんなにないでしょう。キャッシュレス決済を促すべきかどうかは、それは国の政策に乗るかどうかだけの理由な気がします。
どっちでもいいと思いますよ。

質問： 団体客受け入れについて、店内の密度の緩和や接客方向について

回答：これは必要でしょう。

特に、この質問のいいところは、密度という表現です。

空間に対する人の量が多ければ多いほどコントロールが効かないし、人がいっぱいわしゃわしゃしちゃって、滞在時間が長くなります。

つまり、中にいる人を減らして、コントロール可能にすること・移動がすみやかになること、つまり滞在時間が少なくなること・できるだけちゃんとマスクをつけてもらうこと・というところが1番重要です。

団体客さんのところですね。

こちらのワイナリーさんは今、個別のお客様の対応が多くなってそれでそっちの話になっちゃいました。

団体客さんが来るところで、ここはどうなんだ？っていうのがあったら是非、教えてください。

ちょっと見て考えて、できればいいかなと思います。

質問： 現在、売店の営業を休止していますが、再開した際の留意点を教えてください。
(最低限やらなくてはいけないことなど)

回答： 先ほど申し上げた通りですね。必須の情報。
質問頂いたものは全部お答えしました。

(チャット)

質問： 消毒用アルコールの度数ですが、65%は使用できませんか？
使用する場合の注意点は？

回答： 使用ができないことはないです。

ただ、ウイルスを殺す効果が弱くて、接触時間が長くなっちゃいけないということなんです。

この場合はさっき3~4 ccって言いましたけど、もうちょっと多い量になります。ビトビトになりますが、ビトビト量を出してもらって、一生懸命に擦りこんでもらう。乾かしてる間に摂食時間長くなってOKになります。

もう一つは、無水エタノールを足して、濃度を上げるだと思えます。

でも、病院だったら70%以上じゃないとちょっとねーってなるけど・・・

一般的に使うのだったら65%でも、まあいいんじゃないのって気がします。

充分かどうかって微妙だけど・・・70と65で何が違うんじゃないかって気も若干するので、それもしっかり使っていただく方がいいと思います。

でも、できれば量を少し増やされるといいでしょう。

(社長)

質問： 団体がバスで20人できたときに(今は団体さんはみえませんが)その時には、どのような対応がいいのでしょうか？

回答： もし、団体で20人くらい来ちゃったら、どういう対応が良いかということですね。白百合醸造さんを見させていただいた中なかで言えば、試飲も20人入っちゃいますか？

なるほど。それは結構きついですね。

入り口のところは、うまく流れるようになってるんですよね・・・人が・・・ただ、書くところで人が密になります。

【社長】 団体の場合は、1人だけが記入です。」

それだったらいいですね。であれば、お金の支払いのところとかもまとめてやってもらって、試飲のところが結構人が多くなっちゃいますんで、テーブルを少し足すなどして、すこし間を空けて設置すれば20人は共用できると思います。

できれば、その・・・あんまり同じ人たちがずっと同じ空間にいることは、本当は避けたいところですが、かといって、待つ場所がないですから・・・

ちょっと、しょうがないでしょう。

見学の際は、みんなでゾロゾロと動くとなると声が届きませんから、拡声器を使って、2つに分ける3つに分けるなんかして、分けるほうがいいと思います。

多分そういう対応ですかね。

【社長】 原則は、密にならないということですね。

そうです。どのぐらいが密になる、ならないという一定値は、はっきりしたものがありませんけど、わかりやすいのは“みんなマスクをしてね”“15分以上同じ場所に滞在するのは、本来は避けましょう”1メートル以上開けましょう“試飲は、15分以内”なんて絶対不可能なんで、 だったらできるだけいいと思います。

【佐藤】

それでは、質問の受付を終了させていただきます。

三河先生ありがとうございました。

以上